

(第1面)

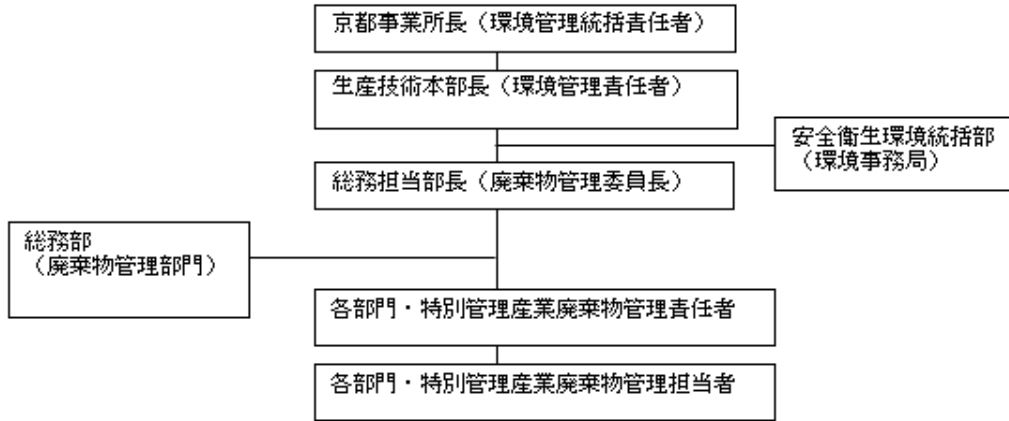
特別管理産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6 月 28 日	
京 都 市 長 殿	
提出者	
住 所 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地	
氏 名 株式会社 GSユアサ (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 075-312-1211	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 GSユアサ 京都事業所
事業場の所在地	京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	29 電気機械器具製造業
② 事業の規模	108,390百万円
③ 従業員数	2,715名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	① 有害廃酸（排水処理場）：分解・無害化処理後、セメント原料などに活用。 ② 水酸化鉄汚泥（排水処理場）：汚泥に薬剤を投入し無害化処理後、セメント類を添加・混練し固化させる。一部、再生処理土として再生利用。 ③ 引火性廃油（製品材料）：分解(無害化)処理後、セメント原料または高炉用ペレット原料として活用。 ④ 有害廃油（設備洗浄工程）：焼却処理後に残渣を路盤材などに利用。 ⑤ 感染性廃棄物（診療所）：焼却処理の上、管理型最終処分場で無害化処理。

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和5 年度) 実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	排 出 量	t t
	(これまでに実施した取組) ・ 汚泥の脱水・乾燥 ・ 高速沈殿設備による廃棄鉛量の低減 ・ ベルトプレス機および汚泥乾燥装置の導入 ・ 分別による減量	
②計画	【目標】特別管理産業廃棄物の減量・抑制	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	排 出 量	t t
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状取組の継続 ・ 排水鉛濃度の安定化 ・ 汚泥乾燥装置の効果確認 ・ その他、有効施策の検討	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 各廃棄物置場のパトロールにて保管状況を確認し、適切な管理を実施。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状取組の継続 ・ 有価物排出への取組み

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 取組無し	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 予定無し	

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組) 取組無し		
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組) 予定無し		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 取組無し		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定無し		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・現状取組の継続 ・優良認定処理業者への処理委託		

②計画	【目標】特別管理産業廃棄物の委託量を減量する。		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	別紙集計用シートのとおり	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状取組の継続 ・再生利用、熱回収業者への優先委託		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和5年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	359.6	t
	(今後実施する予定の取組等) ・電子マニフェストを導入済み。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書 の [集 計 用 シ ー ト]

・下表にない種類の特別管理産業廃棄物については、「特別管理産業廃棄物の種類」欄に、品目を記載してください。
 ・行が不足すれば、適宜追加してください。

特別管理産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら直接再生利用した量(t)		③ 自己処理焼立処分又は海外投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ そのうち無回収を行った量(t)		⑥ 自ら中間処理した後の再処理量(t)		⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後自ら焼立処分又は海外投入処分した量(t)		⑨ 自ら中間処理した後の焼立処分又は海外投入処分した量(t)		⑩ 焼立及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)		⑪ ①-②-③-④+⑤-⑥-⑦+⑧+⑨+⑩										⑫ ①-②から再生利用を行った量(t)		⑬ ①-②から焼立処分又は海外投入処分を行った量(t)					
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標								
焼油(引火性)	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
炭酸(特管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
炭アルカリ(特管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炭PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
炭水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
炭油(特定有害)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥(特定有害)	345	242	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	345	242	282	194	0	0	52	36	11	11	0	0	345	242	0	0	0	0	
炭酸(特定有害)	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	0	0	9	9	0	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0		
炭アルカリ(特定有害)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	360	256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	360	256	282	194	0	0	57	42	11	11	0	0	360	256	0	0	0	0	

(注)トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が無効であれば小数点以下3桁まで記載は可。